



福祉と住環境を考える ふくてっく

2005年7月
第65号

特定非営利活動法人
ふくてっく

559-0034大阪市住之江区南港北2-1-10 ATC ITM棟 11F Iビル
TEL/FAX 06-6614-6800 http://www.ocn.zaq.ne.jp/fukutech/

70歳代前半 男性
 コーディネーター 山本尚子
 初期診断 山本尚子・後藤秀樹
 業者委託 ヒューネット後藤

A トイレと浴室に手すり取り付け希望。居室の手すり取り付けについては相談したいとのこと。
 B 木造住宅の一戸建てに一人でお住まい。月に何日か娘さんが様子を見に来られている。加齢のため足腰が弱っている上に、糖尿病性網膜症で足元が見えにくく、ふらつきもある。
 C 浴室 浴槽の底と洗いの床との段差が気になつたが、入るときに掴まれるよう浴槽の立ち上がり付近に縦手すりを、浴槽の向こう側に横手すりを取り付け、とりあえず様子を見る

住宅改造 事例報告

A 依頼内容
 B 日常生活と家庭状況
 C 解決方法
 D 改善後の状況と考察

こととする。
 出入口の脱衣室との間の9cmの段差は、今のところ特に問題は無いとのこと。すここのを敷くと更に洗い場の床が上がってしまうため、現状のままとする。
 トイレ 本来は便器の両側に手すりを取り付けたいが、狭くなってしまふので片側のみとする。壁仕上は床より1mほどタイル貼で上部はクロス貼。L型手すりを取り付けるのに仕上の厚みの差の分だけ段差となるため、下地調整材を取り付けることでの対応。
 居室 DKと和室との段差部分は、手造りの踏み台が既に設置されていたが、さらに安全に昇降できるように建具枠に縦手すりを取り付けることとする。その際、引き違いの扉を閉めるのに邪魔にならないよう取り付けなければいけないので、コーナー用の受け金具で対応することになった。



【和室段差部】



【トイレ手すり取付け作業中】



【トイレL型手すり】

住宅改造 事例報告

A 依頼内容
 B 日常生活と家庭状況
 C 解決方法
 D 改善後の状況と考察

仲睦まじい高齢者二人暮らし、安全に快適な入浴支援・・・段差解消、手すりの取付
 コーディネーター・設計清水麗子
 業者委託 アトミック・リゲイン・コーポレーション
 A 当初、夫が浴室から出る時に、扉の下枠に足が引っかかり転倒したことがきっかけで、浴室内にすのこ（福祉用具の購入）と手摺、便所に手摺を取付けたというご希望でお伺いしました。初期診断時はお二人にその希望を聞き、お二人にそれぞれの環境で生活動作をしていただき、手摺の位置などを確認しました。再度PT（理学療法士）さんが見える日に訪れ、お二人の生活動作をPTさんと共に検証し、また後日近隣の息子さんも立会いの上で、安全に移動できる為の手摺の取付（DK・玄関ホール・洗面所）・すりつけ板の設置（DK建具下枠）、便所での立ち上がり補助及び移動の為の手摺の取付、安全に入浴するために浴室の改修

仕事をすることになりました。
 B 仲睦まじい高齢者夫婦は築25年のマンションにお住みです。居間から浴室や便所に至るまで建具の下枠などに跨ぎ段差があり、夫の歩行の障害になっていました。ご夫婦共に、浴室・浴槽の立ち上がり（エプロン）の高さ540mmは、安心して跨げる高さではありませんでした。浴室扉（開き扉W700）は浴室内のシャワーチェアにぶつかって全開できない状態で、浴室の出入りにも支障をきたしていました。
 夫（90歳前半）は狭心症・高血圧の持病があり、両耳共補聴器を使用しています。歩行はふらつきが有り、歩行補助杖・伝い歩きと伝い分けていらつしやいます。妻（80歳前半）、腰椎圧迫骨折のため動作開始時に腰痛、両膝に可動域制限があり歩行



支障もあります。化学療法治療中で体調に波があり、寝込む事も多く見受けられます。現在介護保険では、訪問リハビリ（夫）・デイサービス（夫）・訪問介護（夫・妻）を利用されています。
 C ①浴室の改修 現状のユニットバス（UB）スペースに設置でき、尚且つ高齢者対応仕様であるUBを探しました。現況のUBは内法1150×11550であり、この寸法に該当するUB（高齢者対応仕様）は見つかりませんでした。
 洗面との間仕切り壁を調整し、梁部分も取り込み、壁裏の配管スペースが要らないデッキ出し水栓金具にし、スペースを広げる事で、内法1200×1650を納めることができました。
 ②浴室の主な配慮 エプロン高さ475mm、ドアはW800（有効開口幅720mm）折れ戸、洗所（+50）・ドア下枠（+200）・浴室床（+150）の跨ぎ段差から洗所（+50）・建具下枠（+195）・浴室床（入口+192の勾配・平均+178）の単純段差に変わりました。浴室の室温管理のため予備暖房付換気乾燥機を設置しました。
 ③入浴用の手摺 浴室洗い場用の縦手摺、浴槽内姿勢保持・立ち座り用のL型手摺、浴槽出入用L型手摺、浴室出入用縦手摺（浴室側）は樹脂製、浴室出入用出隅取付縦手摺は木製を取付けました。
 ④便所の手摺 便所での日常生活動作を検証すると、立ち上がりには縦手摺ではなく、プッシュアップのほうが無効にスムーズに行われることがわかり、L600mmの横手摺を上端H800mm・両側に取付ける事とし、紙巻器（手摺の下部に）やタオル掛け（便所



⑤安全な移動 DKに隣接した部屋を寝室とされていたので、DKの壁（下地プラスチックボード）に下地板+移動用の横手摺上端H800mm1箇所（それ以外の移動には家具など利用する）、DK床（+35）建具下枠（+65）玄関ホール（+50）の跨ぎ段差にすりつけ板を設置、玄関ホール出入り口に縦手摺2箇所、便所入口に縦手摺1箇所、全て木製で縦手摺の高さは上端H1500mmに取付けました。
 D 安心して入浴できると非常に喜んでいらつしやいました。ただ、浴室の床は設備上低く出来なかつた為、浴室入口と洗所の床と約150mmの高低差がついています。洗室床を一部上げて（H75mm）緩やかな段

差にしてみてはという案もありましたが、狭いところでもありまた、先々の体調の変化を考慮して、工事するよりか式台を置いて対処する事になりました。式台はケアマネージャーさんお手製のもので、電話帳とガムテープ・滑り止めシートとタオルを組み合わせて作ったものです。
 初期診断に何ってより、最終決定するまでに3ヶ月ほどかかり、検証と提案を繰り返しました。ご夫婦の希望は安全に家の中を動ける事であり、入浴もたえ夫婦であつても手を借りず、一人で入浴することこだわっていました。夫はお会いするたびに動作が変わっていました。体調が悪くてというより、他人が居ることによって、その前で動く事によって、日常とは違う動きをしてしまうようです。時間をかけた事により、また慣れて頂いた事もあり、本来の動きを検証する事ができよかつたと思つています。PTさんやケアマネージャーさん、ヘルパーさんとのご協力に感謝します。
 （清水 麗子）

「すきま」がテーマ
ちよつとした不自由
を補うモノを提示



5月定例学習会
平成17年5月7日(土)
アフターフォーティ 代
表
菊地 弓子 氏

アフターフォーティ(お
歳以降)という名前の店を
はじめて2年になります。
専業主婦だった私が、店を
始めたのには、幾つかの
きっかけがありました。一
つに、娘を育てる過程にお
いて、障害者と健常者の間
(すきま)の教育の不足分
さを実感した事。二つに、
お洒落が好きだった60歳
の祖母が不自由を抱えて
も、祖母らしく余生を過
して欲しいと励む母の姿を
目にして、要介護と自立の
間(すきま)にいる高齢者
の日常生活を助ける生活用
具の不足分さを知った事。

最近の老人ホーム
の概要と実例に見
る今後の設計課題



6月定例学習会
平成17年6月4日(土)
(株)ジオ・アーキネット
原恵一氏 井戸田精一氏

■老人ホームの分類 特徴
と最近の動向
私どもの事務所では20年
近く前から1年に1〜2件
の老人施設の設計をしてい
て、計100件ほどの経験をし
てきた。
高齢者の介護には、在宅
介護と施設介護があり、そ
の連携が肝要だが、まず施
設介護を分類すると以下の
ようになる。1療養型病院
は、入院が長期に亘る方

そしてその頃私が乳癌に
なり、術後の不安と不自由
さの只中に置かれたとき、
娘、祖母、私がつながり
つなかりました。以来、
『すきま』が私のテーマに
なりました。それが、アフ
ターフォーティの始まり
だったのです。

ご高齢の方からは40歳
で私たちの不自由さがわか
るかしら?とも云われまし
た。でも私はどうしても敢
えて60歳という中途半端な
年代に拘りたいと思いまし
た。年々増えて行くハード
ルに戸惑いながらも日常生
活をおくる高齢者の不自由
さと、年齢に関わりなく置
かれたハードルにチャレン
ジしつつ生きて生きる障害者
の不自由さは区できないと
思ったからです。

確かに60歳を過ぎると少
しずつですが不自由さは増
えてきます。福祉用具では
ないけれど、例えば老眼鏡
に始まり、杖など、不自由
を補うモノが知らず知らず
身の回りに増えてきます。
このような、生活の中で感
じるちよつとした不自由を
補うモノを自助具を含め、
誰にでも必要なモノ、い
れ必要になる身近な道具と
して提示したいと思いまし
た。
このような道具を抵抗感
なく取り入れやすくする為

には、遊び心やおしゃれ
心(センスのよい色、デザ
イン性)、そして日本人
がチョット苦手なユーモ
アのセンスがとても大切で
す。それは贈り手にとって
は「こんなものを見つけた
したよ」と思いやる気持ち
が素直に伝えやすくなり、
同時におくられた側にとつ
ても嬉しいと素直に思える
からです。これがアフター
フォーティのモノ選びの基
本と言えます。アフター
フォーティが介護用品の店
というよりは、ギフト・お
見舞い用品の店と云われる
所以です。

商品の質のよさはもちろ
んですが、大切なのはそれ
を紹介する側の気持ちで
す。例えば、失禁パンツで
も「そんな年寄りのものい
らないわよ」という言葉に
対して、「交波滞の時や、
海外旅行で重宝された」と
いう方の体験談をお話する
と、そんなもの!と云って
いた方の考えもプラス指向
に変わってきます。「アア
はなりたくない」、「アア
なったら終わりよね」と人
事のように云っていた事が
変わってくるのです。「私
だったらこれがいい」、「便
利よね」、「これがあったら
助かる」と。自然に自分の
事として見て、選んでい
る。ものの見方が変わって

病院であり、一病院に比
して療養環境にゆとりがあ
る。2介護老人保健施設(一
称「老健」)は病院と在宅
の中間施設であり、長期の
療養を念頭には置いていな
い。これに対して、3特養
護老人ホーム(特養)は終
の住まいとなるもので、近
年は個室標準のユニットケ
ア化が進められている。4
ケアハウスは、自立可能な
老人が対象で、いわば食堂
と浴室が備わった老人ワ
ンルームマンションである。
介護認定者は入れないこと
になっている。夫婦部屋も
ある。

要介護になるとケアハウ
スから特養へ移行する事に
なり、単独のケアハウスは
空きが目立っている。一部
に、特定介護型認定を受け
たケアハウスでは、介護認
定者も退所しなくてよい。
24時間介護型で月二万くら
いで暮らせるようだ。他に
グループホームがあり、以
上は補助金対象となる施設
である。

これに対して、有料老人
ホームは、補助金なしで自
由に計画でき、初期のもの
は高額であったが、最近の
ホームは特養並の経費で暮
らせる物もでてきた。一方
の特養はホテルコストが加
算されるようになり、差が
なくなってきた。

以前は用地と数千円あれ
ば特養ができたが、最近
は用地と3億円くらいの自己
資金が必要になっている。
老健では特養と言うとこ
ろの居室を療養室といい、
4居室が認められていて病
院の設計に近いが、近年で
はユニットケアを意識した
しつらえも増えている。新
型特養(ユニットケア)の
居室は、基本的に個室で、
洗やトイレが設置され、終
の住まいとなっている。共
同生活室で少人数グループ
の生活環境を創っている。
ケアハウスは言わば賄
い・風呂付きワンルーム
で、個室には収納・キッチン
・トイレがついており、
部屋で使用する電気代は個
人負担である。

グループホーム(痴呆対
応型共同生活介護)は、9
人1ユニットの生活単を
構成しており、普通の住宅環
境を創ろうとするものであ
る。
有料老人ホームは、やや
高級な分、料金も割高だ
が、最近はおコスト型も
でてきている。ケアサビ
スによって、1健康型(要
介護になると退所)、2住
宅型(訪問介護を受けられ
る)、3特定施設(介護付き
有料老人ホーム)に分類さ
れる。

■次に在宅介護サービスの
状況を説明しよう。
まず自宅、集団生活、老

行く。
もの見方が変わると、
扱っている商品のイメージ
も変わります。やがて、幸
いなことに東京青山の紀伊
国屋というスーパーマー
ケットで一つのコーナーを
与えられました。食材を
入れた同じカゴにアフター
フォーティの品々が抵抗な
く入れられてゆくのを
見て、数々の自助具が便利
な日常生活用品として当
前に受け入れられた喜びが
自信に繋がりました。
現実に、今困りていて
への対応の不足分さと心苦
しさは、2年経ったいま
も引きずっています。新
しいジャンルの必要性と
可能性を痛感しています。
団塊の世代がきつと従来
と異なった高齢者のイメ
ージを創つてゆくのでは
ないかと思いつつ

子供がキデイランドに行
けば何か素敵なものが見
つけられると思うように、
アフターフォーティへ行
きつと・と思つていただ
けるような店になればと
思っています。そして、あ
くまでもニッチ(すきま)
で、健常と障害のすきまを
少しでも埋めるよう、飽き
ずに逃げずに、商いをして
ゆくつもりです。
Still Perfect After 40years
oldと、カプフルに印刷

人アパート、ケアハウス等
への訪問介護サービスがあ
るが、最近では集団生活を
対象とする訪問介護がも
ろい。次に、自宅、集団生
活、老人アパート、ケア
ハウス等から介護(デ
イサービス、所りハビリ)
がある。食材やおやつ代
として一日あたり1000〜
1500円の自己負担が
かかる。最近、パワリハ
が推奨されているのはご承
知のとおりだ。
施設のセールスポイント
は食事と風呂と言われ、浴
室は重要だ。最近では個
室が多いが、機械浴もある。
シャートステイは施設介
護ではなく在宅介護に分類
されている。その他、住宅
改修や介護用品レンタルが
在宅介護サービスに分類さ
れる。最近の興味深い事
例で、「ほちほち長屋」と
いう集団生活の例を紹介し
よう。土地のオーナーが老
人専用のアパートを長屋風
に造って、家賃収入を得る。
そこに提携の社福が在宅
介護に入り(介護のお金は社
福へ)、管理運営をNPO
が行うというものである。
入居者は、全く老人ホーム
のつもりで生活している。
老人だけでなく単身者や
ファミリーもいっしょに生
活しているところがおもしろい。

部

されたTシャツをプレゼン
トされました。きけば、
お歳から100歳以上まで
有るということ。S.M.
Parker. 何歳になっても
完璧?!
(講師要約)
諦めなくてはならない事
は深く諦めても、諦めてい

8月休会
9月 13時 30分
日時 平成17年9月3日(土)
時間
場所 大阪市立社会福祉センター 3階会議室
場 大阪 NPO法人 ニュースタート事務局
所 関西
学習会 講師
関西
テーマ 水谷 宏明氏
未定



①浴室 スロープ型、階段
型、立ち上げ型、個浴型、
個浴併設型などがある。ス
ロープ型は介助的にはやり
やすいが、浴室が大きく
るのが欠点。階段型は、最
近増えており、極力自力で
入浴させようという形態。
立ち上げ型は、エプロンに
座らせて入浴するもので、
最近の介護には主流になり
つつあり、コンパクトに計
画できる。個浴型は最近
の流行でアイランド型と壁
付け型がある。個浴併用型
は、浴室の一角に個室の個
浴を作る例。
他にスロープ銭湯型があ
って、ジャグジーや打
たせ湯も取り入れられてい
る。ただ、泡は雑菌を増
やすのでよくないので、
水流がこれに変わらな
る。機械浴も最近ではコン
パクトな機械浴(個浴的入浴
スタイル)に人気がある。
特に、ユニット単で浴室
をつくるようになった事情
もあって、4m×4m程
度で個浴と機械浴を収めて
いる。チェアインバスは
デイサービスに多い。寝た
まま入る機械浴装置は、
700万くらいまで下が
たがまだ高い。今後は補助
金がかからない。
②トイレ 居室内の専用ト
イレは基本的に住宅程度だ
が、中でなんとか車いすが
回転するには1.25×